

会報

こぶし

発行 花北地区
コミュニティ協議会
編集 総務企画部

身近な自然散策

花北地区コミュニティ協議会会長 **高橋 修**

日頃よりコミュニティ協議会の活動に、ご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

現在、コロナ禍で行事は、ほぼ延期や中止をせざるを得ない状況となり、皆様にはご迷惑をお掛けしております。

今回は会長としての報告などを省き、私の趣味をご紹介します。

私は樹木を見ながら散策する事が好きです。少し気を付けて観るといろいろなお見があります。

今回は、花北地区の神社やお寺で私



上：花巻神社 下：廣隆寺

どの木もこの地方には自生しているものではない、誰かが植えたものだと思いますが、かなりの古木です。高野槇は、秋篠宮家の長男悠

が見てきたものを紹介します。

花巻神社の鳥居の脇には、春一番に咲く桜の木があり、一般的なソメイヨシノとは違うピンクの花が咲きます。

花巻神社と言うと、「あのきれいなサクラが咲く所」とほとんどの人が話します。

階段の左の坂を登って行くと、変わった針葉樹の枝が突き出ています。上に登ると大きな3本の木に、しめ縄が巻かれており、御神木として長年大切に見守られてきた高野槇、榊、唐檜

仁親王のお印の木となり、気をつけて見ると神社やお寺に多く植えられております。妙円寺には、小さい頃に「アマチャ」という独特な味のある実をかじっていたケンボナシが、また広隆寺には、雌の大きなイチヨウがあり今年もいっぱいの実をつけています。この木を見るたびに、宮沢賢治の「いてふの木」と、レオ・バスカーリアの「はっぱのフレディ・いのちの旅」が頭に浮かびます。鳥海神社には大きなフジの木があり平成の初め頃に藤棚を作り今も元気に育っています。いろいろな興味の持ち方で、遠くに出かけなくても楽しめる事が多くあるようです。

生活環境部会

部会長 **内村 俊彦**

今年度は年明け早々からコロナ禍騒動の為、定例の総会や部会、更に、ほぼ全部会の行事が中止となりました。従って例年行われておりました行事応援はありませんでした。このような中でも、環境部会の行事、事業は、3密の可能性が少ない、野外の活動が主なので、ソーシャルディスタンス対策を講じながら、年間の予定行事を、ほぼ実施させて頂きました。

令和2年生活環境部会実施行事

その1 愛宕公園 刈り草集め

(6月3日 8月5日 10月10日)

その2 花北振興センター、プランター花植え (6月11日)

その3 ※愛宕グラウンド草取り

(7月4日 9月26日)

※グラウンド草取りにつきましましては、会員やご近所様方の高齢化等の事情により、参加者が激減し(昨年28名)今年はどうしようかと悩んでおりましたが、ペタンククラブ様や桜台学童クラブ及びPTA様が参加して下さるとの朗報の下、実施させて頂きました。今年は、7月は小雨、9月も露雨に聞らず大勢(幼児から老若60〜90名)の御参加を戴き、心より厚く御礼申し上げます。

次に、昨年もお願ひ致しました、ごみ集積所利用の件です。今だに市が全戸に配布してる分別表と収集日を無視して居る方が居るとの事です。今迄は未収集塵を当番が持ち帰り正分別して、後日の指定日に出して下さってる方も居られる様ですが、今やコロナ禍時代となり、素人が他人の塵に触らせる事は(個人情報漏れの観点からも)好ましく無いと思います。各自持ち込んだ塵は夕方から翌朝迄に確認に行き、残されていたら素直に持ち帰り再分別し、後日の指定日に持ち込みましょう。



令和2年9月26日 愛宕グラウンド草取り風景 幼児から老若約90名